

観測流量による犀川水系伏見川窪地点の流量確率評価について

はじめに

辰巳ダムの基本高水ピーク流量の検証のための流量確率評価について、事業計画を策定した石川県は、観測年数が不足して評価が不能であったとして評価がなされていない。少なくとも、30～40年の観測年数が必要といわれるが、データ数がどれほどあれば適切な評価ができるのか、否かを犀川の実例を通じて検討する。

辻本名古屋大学教授は「犀川基本高水ピーク流量への意見聴取への回答」（北陸地方整備局）の中で「（平成15年に開催されている）犀川水系河川整備検討委員会の河川計画専門部会で（中略）基本方針流量観測資料の不備などからそれが不能であると説明を受けた」としている。

犀川中流部で河川工事が行われた後、昭和53年から下菊橋測水所で観測が再開されているが、平成14年（2002年）末時点では観測年数25年、平成25年末現在で36年である。

寶京都大学教授は上記の意見書で、「100年確率流量を（中略）統計的にある程度の精度（正確さ）を持って確率分布関数を定めるためには30～40年程度のデータ数が必要である」と述べている。

観測年数によって評価がどのように変化するのか、犀川水系伏見川窪地点の観測流量にもとづいて検討する。

窪測水所においては、昭和47年（1972）から観測されており、平成25年末現在で観測年数42年となっている。

1. 流量確率による評価

窪地点における昭和47年から平成25年までの42年間の毎年最大流量によって流量確率による評価を行う。使用するソフトウェアは、財団法人国土技術研究センターの「水文統計ユーティリティ Version1.5」である。

2. 流量データと観測記録年数

42個の流量データは、「表 QP-K-1 観測流量による伏見川窪地点の毎年最大流量」のとおりである。毎年最大流量を大きいものから順に並べたものが、「表 QP-K-2 観測流量による伏見川窪地点の毎年最大流量」である。

3. 水文統計ソフトによる計算

財団法人国土技術研究センターの「水文統計ユーティリティ Version1.5」による。

天神橋基準点の100年確率推定値は、各種確率分布モデル13種で検討する。

観測開始年は、昭和47年（1972）であるが、観測年数を20、25、26、27、30、35、40、42年と区切って計算する。

4. 計算結果

計算結果は、表 QP-K-3-1～QP-K-3-8 である。

結果を集計したものが、「表 QP-K-4 観測流量による伏見川窪地点の100年確率流量」である。

各種確率分布モデルの計算結果は、推定値とデータとの適合度を判定する基準 SLSC 値が 0.04 を超える場合は、計算過程で解が発散して信頼性がないものとしてその手法は除外する。

SLSC 値が 0.04 以下の分布は、以下のとおりである。

観測年数ごとにそれぞれ、

20年： 0分布、

25年： 7分布、 37～43、平均40

26年： 5分布、 37～41、平均39

27年： 4分布、 58～61、平均60

30年： 4分布、 55～61、平均57

35年： 4分布、 51～60、平均57

40年： 7分布、 53～62、平均57

42年： 7分布、 52～62、平均56

観測年数26年と27年の間で平均値が大きく跳ね上がっているのは、平成10年台風7号洪水60.9 m³/s が大きく寄与したためである。

5. 100年確率流量と観測年数の関係

観測年数42年で流量確率評価による100年確率水文量は、56 m³/秒である。

観測年数30年以後は収束しているようである。30年から40年の観測年数があれば、ある程度の正確さを持って100年確率値を推定できるということを立証しているようである。しかし、27年間の観測年数であっても、適合度を満たす分布が4分布もあり、100年確率の平均値の差が7%程度である程度の正確さ（誤差10%以内）で推定できるので30年を境に足りなければまったく評価できないということにならない。

ただ、著しく大きい洪水量が観測されると少ない観測量では予測値が大きく変動するので、ある程度の観測量の多さも必要のようである。

2015.5.22 中 登史紀

表QP-K-1 犀川水系伏見川窪地点の毎年最大実測流量
42年間(1972~2013)

No.	生起年 西暦	生起年月日 和暦	窪測水所 11.72km2 観測値	備考
1	1972	昭和47年7月12日	10.50	
2	1973	昭和48年4月17日	7.16	
3	1974	昭和49年7月10日	25.40	
4	1975	昭和50年7月13日	9.74	
5	1976	昭和51年8月7日	10.50	
6	1977	昭和52年8月9日	5.32	
7	1978	昭和53年6月27日	13.60	
8	1979	昭和54年10月1日	20.40	台風16号
9	1980	昭和55年8月23日	10.80	
10	1981	昭和56年3月15日	12.70	
11	1982	昭和57年8月20日	11.30	
12	1983	昭和58年9月28日	22.60	
13	1984	昭和59年7月8日	11.80	
14	1985	昭和60年6月25日	20.50	
15	1986	昭和61年7月16日	24.70	
16	1987	昭和62年5月24日	13.10	
17	1988	昭和63年6月3日	11.40	
18	1989	平成1年9月6日	20.20	
19	1990	平成2年9月20日	13.50	
20	1991	平成3年7月12日	30.40	
21	1992	平成4年12月8日	4.46	
22	1993	平成5年7月13日	19.50	
23	1994	平成6年9月19日	4.96	
24	1995	平成7年8月31日	19.10	
25	1996	平成8年6月25日	32.20	24時間雨量、史上第2位
26	1997	平成9年7月12日	24.10	
27	1998	平成10年9月22日	60.90	台風7号
28	1999	平成11年7月3日	10.80	
29	2000	平成12年6月24日	11.80	
30	2001	平成13年10月2日	9.03	
31	2002	平成14年7月13日	18.60	
32	2003	平成15年9月1日	26.20	
33	2004	平成16年2月23日	27.20	台風23号、医王山で217mm/日
34	2005	平成17年7月1日	27.20	
35	2006	平成18年7月19日	32.00	
36	2007	平成19年8月30日	22.10	
37	2008	平成20年7月28日	37.00	
38	2009	平成21年6月22日	7.21	
39	2010	平成22年11月1日	15.70	
40	2011	平成23年9月22日	22.30	
41	2012	平成24年9月1日	30.40	
42	2013	平成25年8月23日	20.10	
43	2014			
44	2015			

出典:「流量報告書(窪測水所)」石川県土木部河川課による。

2015.3.6

表QP-K-2 犀川水系伏見川窪地点の毎年最大実測流量
42年間(1972~2013)の最大流量を降順に並べ替え

No.	生起年 西暦	生起年月日 和暦	窪測水所 11.72km2 観測値	備考
1	1998	平成10年9月22日	60.90	台風7号
2	2008	平成20年7月28日	37.00	
3	1996	平成8年6月25日	32.20	24時間雨量、史上第2位
4	2006	平成18年7月19日	32.00	
5	1991	平成3年7月12日	30.40	
6	2012	平成24年9月1日	30.40	
7	2004	平成16年2月23日	27.20	台風23号、医王山で217mm/日
8	2005	平成17年7月1日	27.20	
9	2003	平成15年9月1日	26.20	
10	1974	昭和49年7月10日	25.40	
11	1986	昭和61年7月16日	24.70	
12	1997	平成9年7月12日	24.10	
13	1983	昭和58年9月28日	22.60	
14	2011	平成23年9月22日	22.30	
15	2007	平成19年8月30日	22.10	
16	1985	昭和60年6月25日	20.50	
17	1979	昭和54年10月1日	20.40	台風16号
18	1989	平成1年9月6日	20.20	
19	2013	平成25年8月23日	20.10	
20	1993	平成5年7月13日	19.50	
21	1995	平成7年8月31日	19.10	
22	2002	平成14年7月13日	18.60	
23	2010	平成22年11月1日	15.70	
24	1978	昭和53年6月27日	13.60	
25	1990	平成2年9月20日	13.50	
26	1987	昭和62年5月24日	13.10	
27	1981	昭和56年3月15日	12.70	
28	1984	昭和59年7月8日	11.80	
29	2000	平成12年6月24日	11.80	
30	1988	昭和63年6月3日	11.40	
31	1982	昭和57年8月20日	11.30	
32	1980	昭和55年8月23日	10.80	
33	1999	平成11年7月3日	10.80	
34	1972	昭和47年7月12日	10.50	
35	1976	昭和51年8月7日	10.50	
36	1975	昭和50年7月13日	9.74	
37	2001	平成13年10月2日	9.03	
38	2009	平成21年6月22日	7.21	
39	1973	昭和48年4月17日	7.16	
40	1977	昭和52年8月9日	5.32	
41	1994	平成6年9月19日	4.96	
42	1992	平成4年12月8日	4.46	

出典:「流量報告書(窪測水所)」石川県土木部河川課による。

2015.3.6

表QP-K-4 観測流量による犀川水系伏見川窪測水所地点の100年確率流量

観測地点
流量
観測期間
流域面積
ソフト

窪測水所
毎年最大流量
42年間(1972~2013)
11.72 km²
水文統計ユーティリティVersion1.5
以下の一覧表は、各分布モデルの100年確率水量である
枠内の は、適合度SLSCが0.04以下であることを示す

NO.	確率分布モデル	毎年の最大値データ数								備考
		20	25	26	27	30	35	40	42	
		1972~ 1991	1972~ 1996	1972~ 1997	1972~ 1998	1972~ 2001	1972~ 2006	1972~ 2011	1972~ 2013	
1	Exp	43	47	48	59	56	59	60	60	
2	Gumbel	37	41	41	51	48	51	52	52	極値3分布
3	SqrtEt	74	73	74	76	75	78	79	79	極値3分布
4	Gev	40	40	39	61	61	56	55	54	極値3分布
5	LP3Rs	32	32	31	58	57	55	54	54	
6	LogP3	—	39	39	—	—	—	55	54	
7	Iwai	37	42	40	—	—	51	53	52	
8	IshiTaka	36	37	37	—	—	—	—	—	
9	LN3Q	38	43	43	—	—	—	58	55	
10	LN3PM	36	37	—	—	—	—	—	—	
11	LN2LM	40	—	—	60	55	60	62	62	
12	LN2PM	39	—	—	60	55	60	61	62	
13	LN4PM	—	—	—	—	—	—	—	—	
SLSCO. 04以下の極値3分布の合計		0	81	80	61	61	0	55	54	
SLSCO. 04以下の全分布の合計		0	279	196	239	228	226	398	393	
SLSCO. 04以下の極値3分布数		—	2	2	1	1	0	1	1	
SLSCO. 04以下の全分布数		—	7	5	4	4	4	7	7	
極値3分布平均		—	41	40	61	61	0	55	54	
全分布平均		—	40	39	60	57	57	57	56	

2015.5.13,naka

注: データ数25で適合度0.04を満たす分布が7つもあるにもかかわらず、データ数26と27の間で、100年確率水量の大きさに差があるのは、1998年の台風7号60.9m³/秒の影響のためである。